

古くて新しい病気

「結核」について

県立坂町病院 内科 近 幸吉

結核とは？

結核は、昭和二十年代半ばまで日本人の死亡原因のトップであり、国民病と呼ばれる恐ろしい病でした。現在では、医療と一般の生活水準の向上で、きちんとした治療をすれば完治できる病気となっています。しかし、今でも日本では、一日に九十人新しい患者が発生していて、六人がその命を落とすという油断できない、わが国で最大の感染症です。結核から身を守るためには、正しい知識と結核について関心を持つことが重要です。

結核の感染のしかた

結核は、患者の体の中の結核菌が、咳やくしゃみで空気中に飛び出し、それを周囲の人が肺の中に吸い込むことにより感染します。結核菌は、

極めて丈夫な細菌で、乾燥に強い性質を持ちます。そのため、咳などのしぶき（飛沫）の周りの水が乾燥・蒸発して、中心部だけとなった状態（飛沫核）でも生き続けます。

一旦、飛沫核となると、結核菌はすぐには床や地表に落下せず、空気中に三十分以上も漂い、空気の流れに乗って広がります。空気中で広がり感染するので、空気感染（飛沫核感染）といいます。しかし、屋外に出て拡散したり、紫外線に当たったりすると、急速に感染力を失います。

感染と発症

結核に感染（菌が体の中に入り込み定着すること）しても、必ず発病（病気として症状が出てくること）するわけではありません。通常は体の

免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑え込みます。しかし、結核菌は強い菌なので、体内で冬眠状態になって生き残ります。そして、高齢や糖尿病などで免疫力が低下すると、再び増殖を始めて発病します。感染してから二年以内に発病することがほとんどですが、その期間を過ぎてても、結核菌は体内で「冬眠状態」となっていて生き続けます。免疫力が落ちると、たとえ何十年後でも発病することがあります。

高齢者に結核発病が多くみられるのはこうした理由によるものです。感染しても発病するのは十人に一人程度で、日頃から十分な健康管理をしていれば、一生発病しない可能性が高いのです。

次号では、症状や治療などについてお話しします。



*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

六二 三一一

お宅の水道、漏水していませんか？

最近、村内の水道の配水量が増加していて、各家庭での漏水が原因のひとつと考えられます。

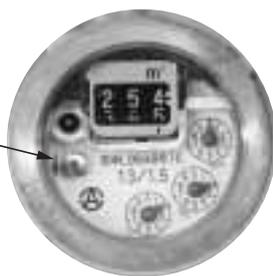
もしも、宅内で漏水している場合、水道料金が高額になる可能性があります。各家庭の水道メーターで確認をお願いします。

CHECK 漏水を確認しましょう

家中の蛇口を全部閉めても、水道メーターのパイロットマークが回っていれば漏水信号です。漏水を発見した場合は、至急、村指定給水装置工事店に修理を依頼してください。

パイロットマーク

漏水が少量の場合、パイロットマークはゆっくりと回ります。見落とさないように!!



水道メーター

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.4 年に1度は健診を受けましょう

後期高齢者医療制度の加入者の方は、居住する市町村で実施する「健康診査」を無料で受診することができます。

健康診査は、生活習慣病等の早期発見及び重症化予防のため、年に1回行われる貴重な機会です。

実施時期は村からご案内しますので、詳しくは住民福祉課健康介護班にご確認ください。

自分の健康を守るために、ぜひ健康診査を受診しましょう。

問い合わせ先
住民福祉課福祉保険班



64 - 1472

あなたに直撃 83



近 美 里 さん
み さと
 (関川中学校2年・辰田新)

関川中学校が取り組んでいる「いじめに立ち向かおうプロジェクト」で中心となった、生徒会副会長の近美里さんにお話をお聞きしました。

今年で4回目となる「いじめに立ち向かおうプロジェクト」。これからの課題や目標は？
 いじめに立ち向かおうプロジェクトを通して、全校生徒の意見や考え方が変わり、いじめをなくそうという意識が高まり、いじめがなくなることが目標です。

生徒集会で問題提起した自作ビデオでは、いじめの加害者役を演じていましたが、どのような気持ちでしたか？
 実際演じている時は、被害者の気持ちを考えたりしませんでした。しかし、完成したビデオを見てみると「ひどいことをしている」と感じました。加害者役を演じることで、いじめを受けている被害者の気持ちを誰よりも深く考えられたので、とても良い経験になりました。

他に夢中になっているものは？
 部活動です。私はバレーボール部に所属していて、県大会出場が目標です。バレー部は10人と人数は少ないですが、これからも日々の努力を積み重ねて頑張りたいです。

それでは将来の夢は？
 将来の夢は看護師になることです。困っている人や助けを求めている人を救えたらいいなと思っています。そのためには、今後必死に勉強しなければなりません。自分の夢をつかむため、夢の実現に向けて頑張りたいです。

「いきいきライフ」
 はお休みします
 * 今月の「健康せきかわ21いきいきライフ」は、お休みします。ご了承ください。

作品は、今後、発達障害に関するイベントやグッズ作成、広報等で使用される予定です。おめでとございませう。

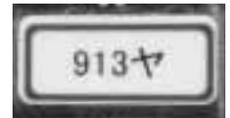
お家に眠っていませんか？

図書室の本

～本の返却にご協力ください～

図書室では、今までに約450冊の本が行方不明になっています。また、約200冊が返却期限を過ぎてても貸し出されたままとなっています。

下のようなバーコードと、背表紙に請求記号の記されたシールが貼ってある本は、図書室の本です。
 (番号はそれぞれ違います)



このような本が、もしご家庭にありましたら、公民館入口の返却ボックス(無人)もしくは図書室カウンターで返却をお願いします。

一度貸し出した記録は、返却されるまで残り続けます。返却期限が何年過ぎていても構いませんので、皆さんのご協力をお願いします。



返却ボックス

県福祉保健部障害福祉課で募集した「発達障害への理解と支援を広げるためのシンボルマーク」に、渡邊司さん(上関・新潟デザイン専門学校)の作品が最優秀賞を受賞しました。

発達障害への
理解と支援

シンボルマーク
最優秀賞を受賞



* 作品はカラーです